

平成 23 年度第 2 回「事業仕分け」に関するアンケート集計結果

傍聴人受付簿記入者 22 名のうち回答をいただいた方 14 名

1. 回答いただいた方

居住地

木津川市	10名	76.92%
木津川市外	3名	23.08%

※無回答 1 名

◎木津川市民が全体の 80.00%

年 齢

20 歳代	3名	21.43%
30 歳代	1名	7.14%
40 歳代	1名	7.14%
60 歳代	6名	42.86%
70 歳代	3名	21.43%

◎60 歳代以上が全体の 64.29%

性 別

男性	11名	78.57%
女性	3名	21.43%

◎男性が 78.57%

傍聴のきっかけ（複数回答あり）

市の広報	8名	57.14%
市のホームページ	0名	0.00%
その他(新聞他)	6名	42.86%

◎市の広報が傍聴となったきっかけの 57.14%

傍聴の動機

- 仕事の関係。
- 行財政改革が進んでいるか、努力しているかを検証。
- 行財政改革に特に注視しているから。
- それぞれの事業の費用対効果を知りたかったので。
- 子供達の教育と考え傍聴しました。
- 今後の対する不安。
- 市の事業実態の現実を知りたい。
- プラネタリウム、文化センターの将来不安。
- 現状況の把握のため。

○行財政改革に関心有り。

2. 各事業の説明や質疑応答における職員の対応

適切であった	1名	8.33%
概ね適切であった	5名	41.67%
普通	3名	25.00%
やや不適切であった	2名	16.67%
不適切であった	1名	8.33%

※無回答2名

◎職員の対応が普通以上 75.00%、やや不適切及び不適切が 25.00%

3. 評価者の意見及び判定結果

適切であった	2名	16.67%
概ね適切であった	1名	8.33%
普通	4名	33.33%
やや不適切であった	3名	25.00%
不適切であった	2名	16.67%

※無回答2名

◎評価者の対応が普通以上 58.33%、やや不適切及び不適切が 41.67%

4. その他（意見や感想）

- 事業仕分けは必要ないと思われる。（教育費）現役世代、未来世代の経費を削減するのであれば、老後世代の経費も比率（%）で削減すべき。でない
と世代間格差が広がる。
- 審議①加茂文化センター、②プラネタリウム館について・・・金食いの大型
ハコ物は不安。もっとコンパクトな施設にすべき。加茂地区の人口減の
現状含め、コストがかかり過ぎる。
- 答弁が一般論になりがち。もっと真剣な議論を望みます。
- 1. 指定管理になると利用する取り組みができるのか。2. 自然学習はど
うなるのか。
- 1. 事業仕分け判定結果の取り扱い規則（細則）等を制定し、早急に制度
化して措置すること。2. 事業仕分け結果及び検討結果（対応案を調整会
議・政策会議に諮り、決定の上で）を速やかに公表すること。3. 事業仕
分けの判定結果を尊重し、厳格に実行されること。
- 前回より「不要」が多くて驚きましたが、議論は勉強になりました。
- 事務事業評価票が関連のあるものまで添付されていないので、一個の事業

単位で仕分けをするのに、とても不都合だと思った。今回は不要の判定が多かったので、仕分けをした意義が特に大きく感じられる。

- 数字にとらわれすぎているように思った。
- 対象事業の提案は職員となっているが、どのような問題があつて対象事業の提案となったか説明がなく、何か不透明さが感じられる。事業仕分けの資料として、提案者の所属課名、提案理由書、行財政改革推進委員会の決定理由書を添付して、透明性をより高めるべきである。
- 推進委員の方々の現状調査がもっと必要だと思う。

以 上